

菅首相 退陣表明



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2011
Yamagata Shimbun

2011年
8月26日
〈金曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

ねじれ国会で失速

29日に代表選 復興増税が争点

菅直人首相(64)は26日、公債発行特例法と再生エネルギー特別措置法が成立したのを受けて退陣を正式に表明した。昨年夏の参院選で惨敗し、野党が参院で多数を占める「ねじれ国会」に直面。国政停滞を招いたほか、東日本大震災や東京電力福島第1原発事故対応でも批判を浴び、政権は失速した。



民主党役員会に向かう菅首相。同役員会で退陣表明した
26日午後、国会

後継を決める民主党代表選は27日告示、29日投票で実施され、30日にも新首相が選出される運び。民主党としては2009年9月の政権交代から2年足らずで、鳩山由紀夫前首相、菅首相に続く3人目の首相となる。

菅首相は民主党役員会で「代表も首相も辞します。お世話になりました」と述べた。代表選は前原誠司前外相(49)や野田佳彦財務相(54)、鹿野道彦農相(69)らが出馬する見通しで、震災復興のための増税や自民、公明両党との大連立の是非が争点になる。党内最大勢力を擁する小沢一郎元代表の

対応が焦点だが、小沢氏は前原氏を支持せず対抗馬を支援する方向だ。菅内閣は昨年6月8日に発足し、小沢氏の影響力を排除する「脱小沢」路線を鮮明にした。だが、7月の参院選は菅首相の唐突な消費税引き上げ発言などにより惨敗。9月に発生した中国漁船衝突事件の対応は迷走した。今年6月には、政権運営への不満から民主党内で内閣不信任決議案に同調する動きが拡大。首相は震災復興などに「一定のめど」がついた段階での退陣意向表明に追い込まれた。7月には原発事故を受けた「脱原発」方針を表明したが、政権浮揚につながらなかった。